

## 6. 金沢大学宝町遺跡 医学部保健学科地区校舎Ⅲ地点

### (1) はじめに

本調査は、金沢大学医学部保健学科校舎新営に伴う発掘調査である。1998・1999年度に校舎Ⅰ・校舎Ⅰ基幹整備・校舎Ⅱ地点の調査(『金沢大学文化財学研究2』参照)が行われた。今年度は校舎Ⅲ地点の調査であり、調査期間は平成13(2001)年4月10日～6月29日で、調査面積は1581㎡である。

### (2) 調査結果

#### 近世(第31図)

本地点は、校舎Ⅰ・校舎Ⅰ基幹整備・校舎Ⅱ地点と同様に、旧金沢刑務所(金沢監獄)時代の建築物及び構造物と、その後の解体等によって、部分的に著しい攪乱を受けている。しかし、近世に属すると思われる堆積層がほぼ全域で確認され、そのうち半分ほどは、校舎Ⅰ基幹整備地点で確認されていたものと同じ層であった。この層は、本地点における地山が掘り込まれ、一段さがった場所に堆積しており、地山は土取りによって掘り下げられた可能性が高い。遺構は、井戸を含む土坑が6、溝が9、ピットが27である。

#### 遺構・遺物(第33図)

井戸は2基確認されたが、いずれも調査範囲の壁際付近にあたり、深く掘り下げることが困難であった。溝は、上記の近世層上部で確認されたものと、その近世層を掘り下げた後、地山上で確認されたものがある。近世層上部の溝は、何らかの地割りを意味するものと考えられ、地山上で確認された溝は土取りの際に設けられた排水用の溝であったと思われる。ピットは地山を掘り込んで一段下がった付近に並んで確認された。土取り場所の境界を示す柵などであったと思われる。

遺物は量が少なく、出土したのもも校舎Ⅰ・Ⅱ地点などと大差はない。

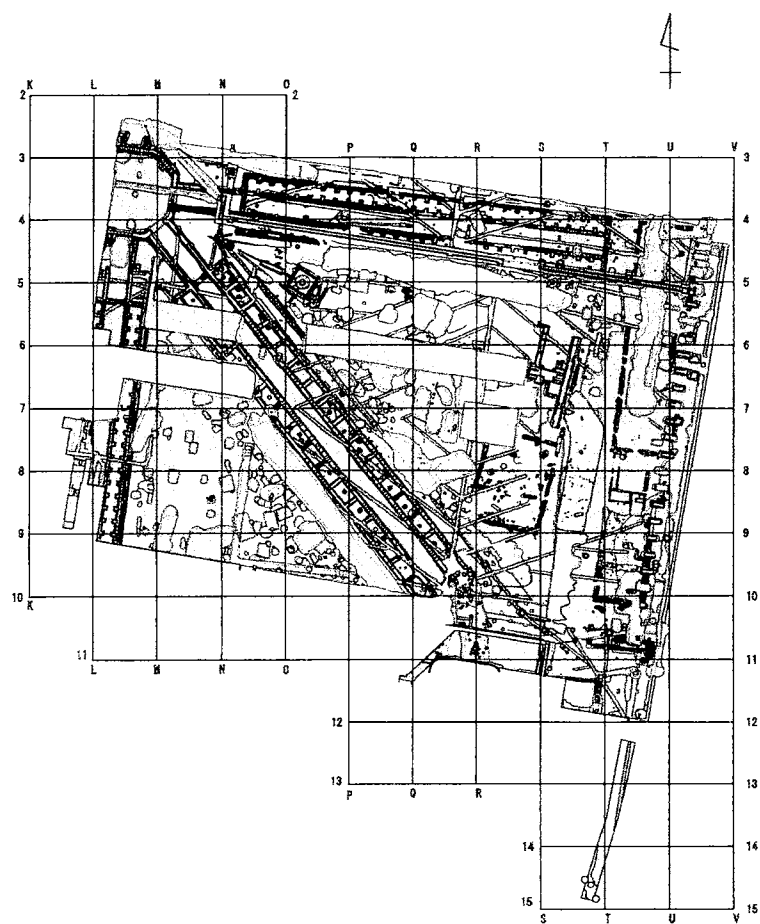
#### 近・現代(第32図)

校舎Ⅰ・校舎Ⅰ基幹整備・校舎Ⅱ地点でも確認された、旧金沢刑務所(金沢監獄)の建物跡が主で、第四舎と第五舎基礎、刑務所内の井戸施設などが確認できた。第四舎と第五舎基礎に関しては、『金沢大学文化財学研究2』を参照されたい。

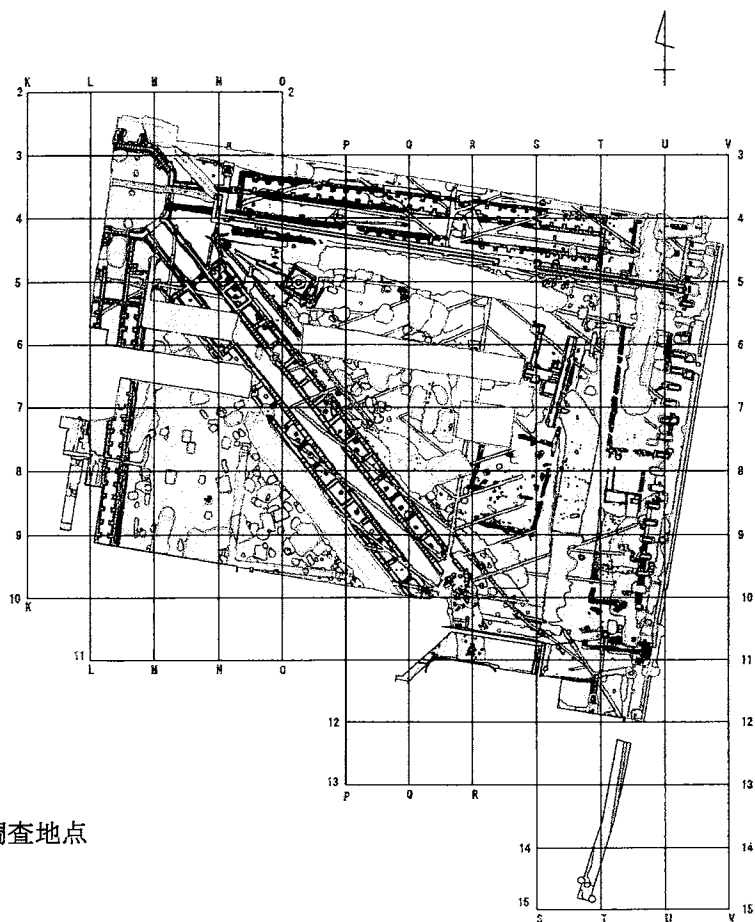
#### 遺構・遺物

今回確認された遺構で特筆すべきものは、第四舎と第五舎の間に位置する井戸施設である。直径2mほどの穴を掘り下げ、その中に直径1m、高さ75cmほどの削り抜いた緑色の凝灰岩を幾段も積み重ねている。最終的に重機を使用して掘り下げたが、6段目を確認したところで作業を中止した。また井戸の周囲には、地中に木樁が方形に配置されており、その四隅には台石らしきものも確認できたため、井戸を保護する上屋の存在が考えられる。

遺物は、刑務所で使用された食器などが出土している。これも校舎Ⅰ・校舎Ⅰ基幹整備・校舎Ⅱ地点と同様のため、『金沢大学文化財学研究2』を参照されたい。



第 31 図 校舎Ⅲ地点 近世(1/300)



1998, 1999 年調査地点

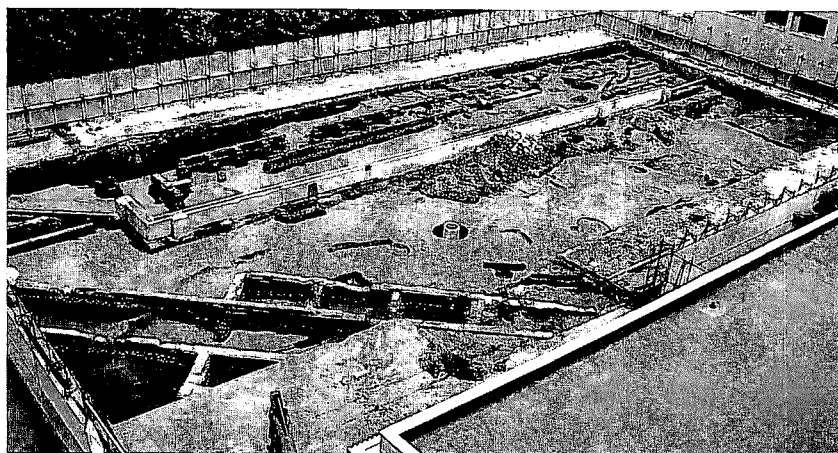
第 32 図 校舎Ⅲ地点 近・現代(1/300)



第33図 校舎Ⅲ地点出土遺物 (1/4)

1～5磁器—染付, 6陶器—灰釉, 7磁器—色絵, 8陶器—灰釉, 鉄絵, 9土師質土器, 10金属製煙管雁首, 11土製輪羽口

校舎Ⅲ地点調査  
区全景



校舎Ⅲ地点出土遺物

